

# 令和2年度 三和地域協議会事業報告

三和地域協議会は平成27年度発足以来6年目を迎え、再編成した3つの部会を中心に、三和地域が「住みたくなる魅力あるまち」になるための事業に、引き続き取り組んできました。

しかし、昨年2月頃から感染が広がった新型コロナウイルスにより、各種のイベントや集会、会議の開催が困難となり、地域協議会がかかわる事業についてもその多くを中止せざるを得ない状況となりました。

また、地域住民の生活の足として欠かせないものとなってきた、「三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称：みわひまわりライド）」は、会員数は継続して増加したものの、運行数については行動自粛の状況の中で減少することとなりました。

一方、地域交流の拠点であり三和地域振興の基幹的施設である「三和荘」の運営については、昨年12月の議会定例会において福知山市から「市直営方式での運営」方針が示されました。三和地域自治会長会や「交流拠点施設『三和荘』存続住民会議」で施設、事業の継続に向けての要望活動を進めていますが、具体的な内容やスケジュールは明らかにされておられません。

また、地域唯一の一般診療施設である三和診療所が昨年8月から休診となり、住民や利用者から多くの不便や不安の声が寄せられています。これについても自治会長会と連携し、早期再開の要望活動を進めているところです。

定住促進や子育て環境の充実、地域自治や地域福祉を守る活動など、コロナ対策の制限があるなか、各部会を中心に引き続き様々な地域課題に取り組みました。自治会長会をはじめ地域内外の諸団体、個人のご理解ご協力により、着実にその歩みを進めることができたと考えております。

以下、それぞれの事業について報告します。

## 1. 協議会全体事業について

### (1) 三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称「みわ ひまわり ライド」）

本年度末時点で「みわ ひまわり ライド」の会員数は139人で、日常の買い物や医療受診、高齢者を対象とした健康体操教室への参加のほか市役所支所や民間の各施設への移動手段として月平均53人の利用がありました。コロナ禍による行事の中断等により前年度と比較すると約3割減少となったものの、三和地域に暮らす高齢者世帯の生活基盤を支えてきました。

さらに、近隣や沿線の利用者による「相乗り」利用者累計も318人となり、割引サービスによる利用者の負担軽減を図ってきました。

また、本年度は民生児童委員の見守り活動等に事業概要を記載したチラシを活用していただき、事業のPRに努めました。

・運行区域 「三和町内便」及び「PLANT（プラント）－3買い物便」

・利用料金 400（800）円／人・回 ※（ ）内は買い物便

※相乗り割引き・・・一定の要件を満たす2人以上の「相乗り」利用者

に、1人1便当り100円の割引券を配付し、以降の利用時に使用することで利用料を割引きし、利用者の負担を軽減する。

- ・運転者数 19人
- ・会員登録数 139人（うち、既利用者99人）
- ・利用者数 延べ633人（平成29年10月からの累計 延べ2,493人）

## (2) みわこどもまつりの開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度のみわこどもまつりは中止としました。

## (3) 子育て講演会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度は子育て講演会を開催できませんでした。

## (4) 福知山公立大学連携事業

福知山公立大学がすすめる「地域密着型授業」として、令和2年度は亀井教授・中尾教授クラスの1回生17人が、三和地域をフィールドに地域経営演習を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期授業はすべてオンライン方式となり、実際に地域を訪れての授業は後期の4回のみとなりましたが、新しい農業の取り組みや民宿経営、生活交通をテーマに学習を深めることができました。また、三和学園との交流も様々な困難を乗り越えて実施することができました。

三和地域での取り組みは、大学と地域との連携モデルとして、引き続き高い評価をいただいています。

## (5) 空き家対策・定住促進事業

令和2年度に引き続き、移住希望者への空き家の案内、所有者さんとの調整、また地域の方の空き家情報バンク登録へのお手伝いなどの活動にあたりました。

コロナ禍において暮らし方・働き方が変化し、地方移住の傾向が高まっていることなどから、福知山市の空き家情報バンクへの移住希望者登録数が、昨年 비해約2.7倍の255名となり、当町での空き家内覧希望者についても申込みが集中し、順番待ちという状況になることもありました。

令和2年3月に三和町全域が京都府移住促進特別区域（移住特区）となり、自治会長をはじめ地域の方たちにもご協力いただき、現在、空き家バンク物件登録数は6件、成約数は5件で、空き家バンク登録手続き中の物件も3件あります。

また、今年度おためし住宅に入居されているご家族については、今後当町での定住を予定されており、2月末に空き家を内覧された50代の方についても成約手続きをされているところです。10月には夜久野みらいまちづくり協議会と移住施策について懇談会を実施しました。

毎年開催していた移住者交流会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

## (6) その他の活動

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほとんどの地域行事等が中止、縮小となり、従来の事業協力等については取り組むことができませんでした。

## 2, 常任委員会について

協議会全体の方針や事業の進め方を協議するため、おおむね月1回、定期的に行っています。構成は会長、副会長、部会長、副部会長、常任委員、事務局の12人です。

- 令和2年度 9回開催

## 3, 部会活動について

### ◎ 地域活力部会

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントや講演会を開催することができませんでした。

#### ○ みわこどもまつり

「みわこどもまつり」は、親子で楽しめるイベントとして令和2年度も開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。前回書いていただき保管していた「一年後の自分への手紙」は、各個人に発送しました。

#### ○ みわふれあいカフェ

みわふれあいカフェは、地域住民が気軽に集い、のんびりお喋りしながら交流を深める場所づくりをめざして、令和2年度も4月～11月まで（緊急事態宣言発令時は休業）計18回開催し、のべ約120人の来場がありました。また、第1金曜は珈琲工房カリビアンさんのオリジナルコーヒーを提供してきました。

令和2年度で5回目となる記念コンサートは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催できませんでした。

#### ○ 三和音頭の普及

三和音頭の普及に向け、令和2年度もイベントなどで普及活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントが軒並み中止となり、活動できませんでした。

### ○ 京都FM丹波「みわを元気に」放送

平成29年度から放送を開始した「みわを元気に」のコーナーは、令和2年度も隔月（休止1回）で計5回の放送を行いました。三和タオル製織、真鍋歯科医院、里の公共員、といった様々な職種の方をゲストにお招きしてお話をさせていただきました。また、地域包括ケアシステムについて、令和3年度から始まる事業についての構想を語っていただきました。広報紙に掲載しているQRコードからアクセスすれば、いつでも聴けるようになっています。

## ◎ 生活基盤部会

令和元年度に続き、2年度も「これからの地域福祉の在り方」を研究テーマに取り組みました。部会のメンバーは自治会や老人会、民生委員の各代表や、市、社会福祉協議会、民間の社会福祉施設関係者らで、地域に役立つ「地域福祉」の仕組みづくりを目指し、議論を深めました。

研究テーマの土台となったのは、国が令和7（2025）年までに整備しようとしている「地域包括ケアシステム」です。同年には団塊世代のすべてが後期高齢者になり、高齢化が深刻化します。包括ケアは、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が、一体的に確保されるようにする体制整備で、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを支える仕組み、といえます。三和町でも高齢化が一段と進む中、誰もが住み続けられる地域となるよう、住民サイドから取り組めるものは何か、意見を交わしました。

福祉現場の実態や、お年寄りの暮らし面でのニーズなど調べ、われわれ住民が担える福祉サービスを考えてきました。包括ケアのうち医療や介護を専門家でない住民が担うのは難しい。そこで、健康をサポートする介護予防や、日常生活のちょっとした支援を行うことにしました。

ご近所さんの手助け的なことで、例えば、ごみ出しや庭の手入れ、草刈り、家具の移動、電球の交換、外出や買い物支援など。令和3年度の夏には組織を立ち上げ、実行に移せればと考えています。

## ◎ 交流・連携部会

この間、公立大学連携、工業団地の立地、新たな移住者の増加などを生かし、つないでいくことをめざして、「交流・連携部会」を立ち上げました。

当面は令和元年度に福知山公立大生から提案のあった「三和フォトコンテスト」の事業化に向けて、提案者の公立大生を含めて4回の部会を開催しました。この事業については令和3年度から実施するため、準備を進めています。

また新たなメンバーの呼びかけやテーマの検討を進めてきましたが、コロナ禍もあり年度内に方向性を確立するに至りませんでした。

新年度にメンバーも補充し、新たな取り組みをスタートしたいと考えています。

## 4. 地域住民活動支援事業

### (1) 三和荘存続に向けての住民要望について

福知山市が進める指定管理施設のありかた再編により、『三和荘』の存続について地域住民や三和荘で働く人たちは多くの不安を感じています。

私たちは今回の報告書の公表に対する三和地域住民の不安や憤りの声を受け、地域内の主な住民組織の代表による「交流拠点施設『三和荘』存続住民会議」（令和元年5月17日設置）を組織し、この問題に対応してきました。

その後、同年8月2日に福知山市に対して提出した「申入書」に対しては8月20日に回答の場が設定され、経過について市からの説明が行われましたが、内容はほと

んど今後の検討に委ねるものでした。指定管理者である NPO 丹波・みわたの間で協議が進み、昨年 3 月で指定管理の期限を迎える事から、来年 3 月までの 2 年間の指定管理延長が合意されています。

昨年 1 2 月には福知山市議会で「市の直営方式での運営」との方針が示されましたが、その具体的内容やスケジュールについては未だ全く示されていません。

「交流拠点施設『三和荘』存続会議」では住民の皆さんの思いを結集し、三和荘存続と地域振興機能の維持・発展のため、十分な住民説明と継続的な協議を求めています。

## (2) 地域住民組織との共同事業について

### ○みわ夏まつりの開催

三和の夏の風物詩として毎年開催しているみわ夏まつりですが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく中止となりました。

## (3) 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部三和支部事務局について（福知山観光協会 三和支部事務局）

毎年開催している春・秋のハイキングについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、令和 2 年度総会についても書面決議としました。三和ぐるっとマップの普及活動などについては継続して行いました。

## (4) 三和地域福祉推進協議会事業について

本協議会は、三和地域の地域福祉の推進・強化・連携を図ることを目的とし、地域内の住民、各団体が共同してお互いに支えあう地域社会を目指しています。

令和 2 年度は、自治会長と民生児童委員合同研修会や地域福祉講演会の開催を模索してきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の中で開催が適わず、唯一の取組みとして協議会構成団体から 28 人の皆さんに協力をいただき、1 2 月 1 1 日に三和会館でポリ袋を使った使い捨ての「手作り防護服」を市社会福祉協議会や民生委員の指導のもとに作製しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、医療機関をはじめ福祉施設では多くの防護服を必要としており、身近なポリ袋を利用して作製した防護服は、市社会福祉協議会を通じて市内の福祉施設に配布されました。

## 5、市役所三和支所委任事業について

### (1) 三和ふれあいフェスティバルの開催

三和地域で開催される大きなイベントの一つである「三和ふれあいフェスティバル」の事務局を引き続き担っていますが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく中止となりました。

## (2) 三和町自治会長会事務局

三和地域の自治会長の連合組織である三和町自治会長会の独自活動について、事務局として連絡調整等の事務を実施しました。また、自治会長に対する月2回の刊行物等の配布や、各自治会独自の文書作成の支援等も実施しました。

## (3) 無線放送録音受任

三和地域全域をカバーする重要な情報伝達手段である「無線放送」について、そのアナウンス録音を担当し、年間を通して各家庭に情報を届けることを行いました。

## 6, 広報紙「みわを元気に」の発行

地域協議会の活動を知っていただくとともに、三和地域における様々な住民活動を紹介するため、広報紙「みわを元気に」を隔月で6回発行しました。

## 7, その他

会長が市内各種団体の委員として、多くの会議等に参加し、地域の意見要望等を反映することができました。

## 8, 事業経過(日誌)

令和2年

- |       |  |
|-------|--|
| 4月3日  | 地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」再開<br>毎週金曜日開設(4~6月中旬は新型コロナウイルス感染症拡大のため休止、12~3月冬休み)           |
| 4月16日 | 第1回三和町自治会長会<br>新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止   |
| 5月20日 | 広報紙発行<br>広報紙「みわを元気に」第31号発行   |
| 6月16日 | 第1回常任委員会<br>みわふれあいカフェの再開について、三和フォトコンテストの準備について、市議会産業建設委員会の出張委員会について、各部会の状況について |
| 6月17日 | 第2回自治会長会   |
| 6月26日 | FM丹波「みわを元気に」<br>三和地域協議会の5年間の活動振り返り   |
| 7月15日 | 第2回常任委員会<br>交流・連携部会の準備について、市議会産業建設委員会の出張委員会について、各部会の状況について                     |
| 7月30日 | 第1回生活基盤部会<br>福知山市各地区での取り組み状況について   |
| 8月3日  | 第1回交流・連携部会   |

「三和フォトコンテスト」の計画について、三和学園との共同事業について、公立大学と三和地域の企業との交流支援について、移住促進・移住者支援とのかかわりについて

- 8月5日 広報紙発行  
広報紙「みわを元気に」第32号発行
- 8月25日 FM丹波「みわを元気に」  
三和タオルの歩みや現在の事業について（三和タオル製織・藤田昌己さんのお話）
- 8月3日 第2回交流・連携部会  
今後の部会の進め方について
- 9月16日 第3回三和町自治会長会
- 9月24日 第2回生活基盤部会  
幹事会の検討内容について
- 9月30日 広報紙発行  
広報紙「みわを元気に」第33号発行
- 10月1日 第3回常任委員会  
副市長との懇談会について、各部会の状況について
- 10月15日 第3回交流・連携部会  
三和フォトコンの実施要項(案)について
- 10月29日 FM丹波「みわを元気に」  
これまでの経歴や現在の状況、歯について（真鍋歯科医院・眞鍋憲さん）
- 11月5日 第3回生活基盤部会  
三和における包括ケアシステム構築について、今後の検討内容について  
第4回常任委員会  
今後の協議会の活動について、各部会の状況について
- 11月18日 第4回交流・連携部会  
三和フォトコンの実施要項(最終案)について、部会活動の展開について
- 12月2日 広報紙発行  
広報紙「みわを元気に」第34号発行
- 12月25日 FM丹波「みわを元気に」  
部会活動と地域包括ケア、助け合いシステムについて（生活基盤部会長・後藤定司さんのお話）
- 12月15日 第4回生活基盤部会  
三和における包括ケアシステム事業実施案について、事業者からの情報提供について、今後の検討課題について
- 12月16日 第4回三和町自治会長会

令和3年

- 1月19日 第5回常任委員会  
地域包括ケア事業の開始について、三和ふるさと写真コンテストの実施について、新年度総会に向けての準備について、各部会の状況について
- 1月20日 広報紙発行  
広報紙「みわを元気に」第35号発行
- 1月26日 地域活力部会打合せ  
みわこどもまつりについて
- 2月9日 地域活力部会打合せ  
みわこどもまつり（ウォークラリー）について
- 2月24日 FM丹波「みわを元気に」  
里の公共員と三和への移住について（里の公共員・洞ヶ瀬圭さんのお話）
- 2月26日 第6回常任委員会  
新年度総会に向けての準備について、協議会の課題と今後の方向性について、新年度に取り組む事業と新役員体制について、各部会の状況について
- 3月9日 第7回常任委員会  
新年度に取り組む事業の提案について、新役員の候補と体制について、各部会の状況について
- 3月15日 地域活力部会打合せ  
ウォークラリーについて（現地確認）
- 3月17日 広報紙発行  
広報紙「みわを元気に」第36号発行
- 3月17日 第5回三和町自治会長会
- 3月18日 第8回常任委員会  
新年度に取り組む事業の検討について、新役員の候補と体制について、各部会の状況について
- 3月23日 第5回生活基盤部会  
三和における包括ケアシステム事業最終実施案について、今後の課題について、本部会の役割終了と来年度の活動テーマについて
- 3月29日 第9回常任委員会  
総会の開催について、各部会の状況について
- 4月10日 第8回総会